



施工説明書

不燃内装用壁材

プレミアムアート KS/K/Mシリーズ

この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工して下さい。



注意 施工説明書本文に出てくる注意事項の部分は、施工前に
注意深く読み、よく理解して下さい。

⚠ 注 意

プレミートを長期間安全に使えるように施工するために、また、トラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

必ずお守りいただきたいこと

- プレミートを加工する場合は防塵対策をとって、加工工具の注意事項を守って、安全に作業してください。必要に応じて防塵マスク、保護手袋・眼鏡を着用してください。
- プレミアートの切断面は鋭利なのでケガをしないように必ず面とり加工をしてください。
- 下地施工をする場合は、接着を確実にするために、捨て張り材を平滑に仕上げ、プレミアートの継目には必ず受け棧を入れてください。
- 火気を使用する部位では、火災の発生を防ぐために防火上の基準に従って施工してください。
- 施工用部材は製品の安全上の注意事項を守って使用してください。
- プレミートをスピーデル工法で接着する場合は、脱落を防止するため、接着剤を確実に塗布し圧着は充分行ってください。
- スピーデル工法に用いる接着剤および両面テープは弊社専用の物を必ずご使用ください。
- 接着剤が硬化するまでは強い衝撃を与えたり、水がかからないようにしてください。
- 目地部は下地への水まわりを防ぐため、目地剤で確実に防水してください。(突き合わせの施工は出来ません)
- プレミートを加工・施工する場合は必ず表面を保護してください。
- プレミートを浴室内へ使用しないでください。

<目 次>

	ページ
⚠ 注意 必ずお守りいただきたいこと	1
1. プレミートKS/K/Mシリーズの仕様	2
2. 施工用部材	3
3. プレミアートの取り扱い	4
4. プレミアートの加工	5
5. 下地の施工	6
6. 玄関等に施工する場合の注意事項	6
7. プレミアートの張り付け	7
『スピーデル工法』による施工	7~8
『目地仮止め工法』による施工	9
タイル下地への施工	10
8. 目地の処理	11
9. アルミジョイナーによる目地処理	12
10. 火気使用場所に施工する場合の注意事項	13
11. 施工後の取り扱い注意事項	14

1. プレミアートKS/K/Mシリーズの仕様

ダイライト基材の表面に化粧PETフィルム（KS）やDAP樹脂含浸紙（K）、紫外線硬化塗料（M）などによって化粧を施した不燃内装材です。

ホルムアルデヒド規制

プレミアートは建築基準法で告示された17種類の建材以外の製品ですので、告示対象外製品として、使用面積の制限を受ける事なく、お使いいただけます。

使用部位

台所・洗面所・トイレ・玄関等の水まわり部の壁面

⚠️ 注意…浴室には使用しないでください。

⚠️ 注意…KS/Mシリーズは、構成材料の一部に金属を使用しており、携帯電話等の電波が入りにくくなる可能性がありますので、設計時にはご注意ください。

2. 施工用部材

※別売部材

アルミ ジョイナー

- 防火性能が必要なところへの使用に適したアルミ製。
- コーキング時の仮止め作業が省略でき、施工スピードがアップします。
- 出隅など、コーキングでは困難な部分の処理が容易にできます。

種類	形状			色	発注単位	品番
	クリーム	ホワイト	シルバー			
出隅				クリーム	本 梱(入数:10本)	WF30-B121 WF30-B120
				ホワイト	本 梱(入数:10本)	WF30-B111 WF30-B110
				シルバー	本 梱(入数:10本)	WF30-B101 WF30-B100
入隅				クリーム	本 梱(入数:10本)	WF30-B221 WF30-B211
				ホワイト	本 梱(入数:10本)	WF30-B210 WF30-B210
				シルバー	本 梱(入数:10本)	WF30-B201 WF30-B200
目地				クリーム	本 梱(入数:10本)	WF30-B421 WF30-B420
				ホワイト	本 梱(入数:10本)	WF30-B411 WF30-B410
				シルバー	本 梱(入数:10本)	WF30-B401 WF30-B400
見切				クリーム	本 梱(入数:10本)	WF30-B321 WF30-B320
				ホワイト	本 梱(入数:10本)	WF30-B311 WF30-B310
				シルバー	本 梱(入数:10本)	WF30-B301 WF30-B300

- 仕様 ホルムアルデヒド規制：規制対象外部位／告示対象外製品
 材 質：アルミ、アクリル系焼付塗装
 梱 包：ダンボール梱包
 長 さ：2730mm

抗菌ABS ジョイナー

- コーキング時の仮止め作業が省略でき、施工スピードがアップします。
- 出隅など、コーキングでは困難な部分の処理が容易にできます。
- ガスコンロなどの火に近い場所への設置は表面が変色したり、焦げることがあります。

種類	形状		色	発注単位	品番
	クリーム	ホワイト			
出隅			クリーム	梱(入数:2本)	WF30-B521
			ホワイト	梱(入数:20本)	WF30-B520
目地			クリーム	梱(入数:2本)	WF30-B721
			ホワイト	梱(入数:20本)	WF30-B720
見切入隅			クリーム	梱(入数:20本)	WF30-B710
			ホワイト	梱(入数:20本)	WF30-B621
見切			クリーム	梱(入数:20本)	WF30-B620
			ホワイト	梱(入数:20本)	WF30-B611
見切			クリーム	梱(入数:20本)	WF30-B620
			ホワイト	梱(入数:20本)	WF30-B610

- 仕様 ホルムアルデヒド規制：規制対象外部位／告示対象外製品
 材 質：ABS樹脂(抗菌剤入り)
 梱 包：ダンボール梱包
 長 さ：2730mm

コーキング

- 目地が黒ずみにくい防カビタイプです。
- 耐水性に優れていますので、水まわりにもお使いいただけます。
- 1本で約15mの目地処理ができます。



色	発注単位	品番
クリーム	本	WF0200-B92
	梱(入数:10本)	WF30-BC20
ホワイト	本	WF0200-B91
	梱(入数:10本)	WF30-BC10

- 仕様 ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品
 主 成 分：シリコン樹脂(防カビタイプ)
 容 器 形 態：カートリッジ型
 容 量：333cc/本
 梱 包 ・ 入 数：ダンボールケース 10本入り

スピーデル 工法用接着剤



- 弾性があり、外的要因による衝撃・震動・膨張・収縮などを吸収緩和。プレマートを保護します。
- 初期接着性に優れたマッシュクタイプ。

※使用量の目安：約1本/枚

本発注品番 WF30-BS01

梱発注品番 WF30-BS00(入数:10本入×2箱)

- 仕様 ホルムアルデヒド規制：F☆☆☆☆ 日本接着剤工業会
 V O C 放 散 性 能：日本接着剤工業会4VOC基準適合製品
 主 成 分：変成シリコン樹脂
 容 器 形 態：カートリッジ型
 容 量：333cc/本
 梱 包 ・ 入 数：ダンボールケース 10本入×2箱

スピーデル 工法用テープ

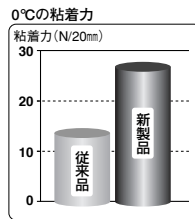
- 従来品に比べ、低温時の粘着力を大幅にアップ。冬場の作業トラブルを解消します。
- 特殊粘着性の両面テープ。

※使用量の目安：
 3×6尺サイズの場合は1枚当たり約2/3巻
 3×8尺サイズの場合は1枚当たり約1巻

本発注品番 WF30-BT01

梱発注品番 WF30-BT00

- 仕様 ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品
 材 質：ポリエチレン系発泡体
 サ イ ズ：厚さ1.0mm、幅20mm×10m/巻
 梱 包 ・ 入 数：ダンボールケース20巻入り



防熱板600

- コンロと壁面との間に、防火上必要な間隔をとることができない場合におすすめします。



品番 WF02997

■仕様

- ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品
 基 材：0.6mm厚ステンレス板
 サ イ ズ：600×350mm
 梱 包 ・ 入 数：ダンボールケース1枚入り
 (スパーサー・ホネジ同梱)

施工キット

※使用量の目安：約2枚分

品番 WF30-BK00

スピーデル工法用接着剤：2本
 スピーデル工法用テープ：2巻



施工キット (コーキング付)

※使用量の目安：約2枚分

品番 クリーム WF30-BK20
 ホワイト WF30-BK10

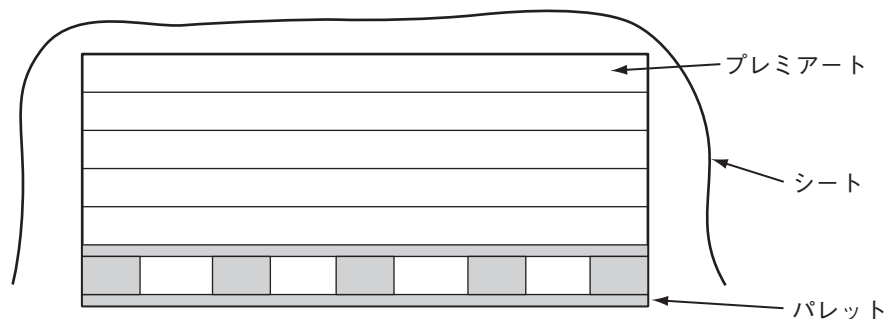
スピーデル工法用接着剤：2本
 スピーデル工法用テープ：2巻
 コーキング：1本
 マスキングテープ：1巻



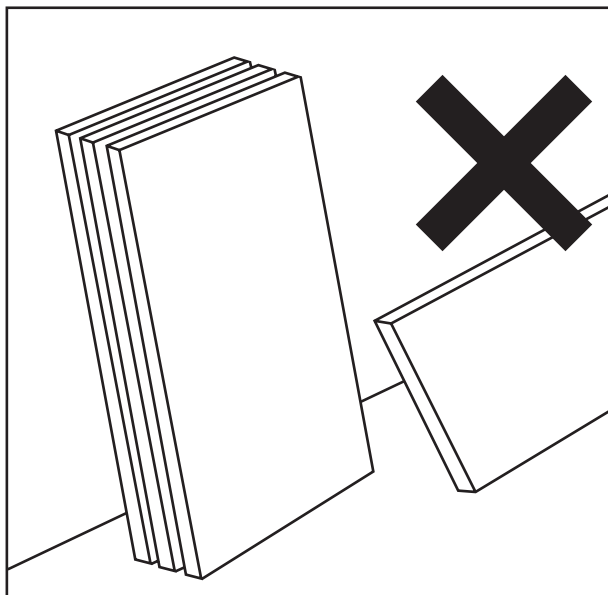
3. プレミアートの取り扱い

保管

野積みまたは立てかけて放置しますと変形する恐れがあるため、避けてください。直射日光や水ぬれの心配のない屋内で、平らな面に平積みし、シートをかけるなどして保護してください。



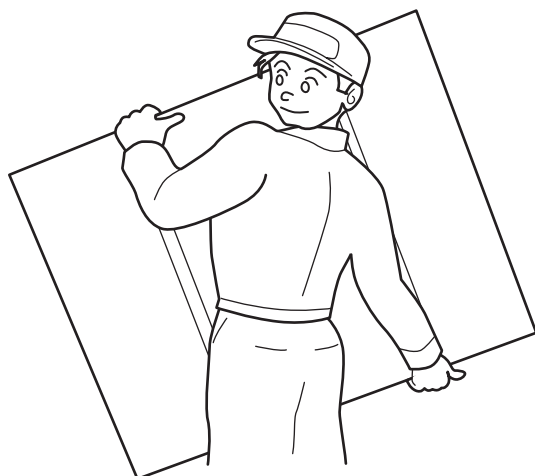
注意：開梱後、長時間放置すると変形し施工の妨げとなることがあります。開梱後はすみやかに施工して下さい。



立てかけて放置しますと製品が変形してしまいますので絶対お避け下さい。

運搬

運搬の際に角を持ちながら、曲げるような力を加えたり、他の物にぶつけないよう注意して運んでください。ロープの直かけなども避けるようお願いします。

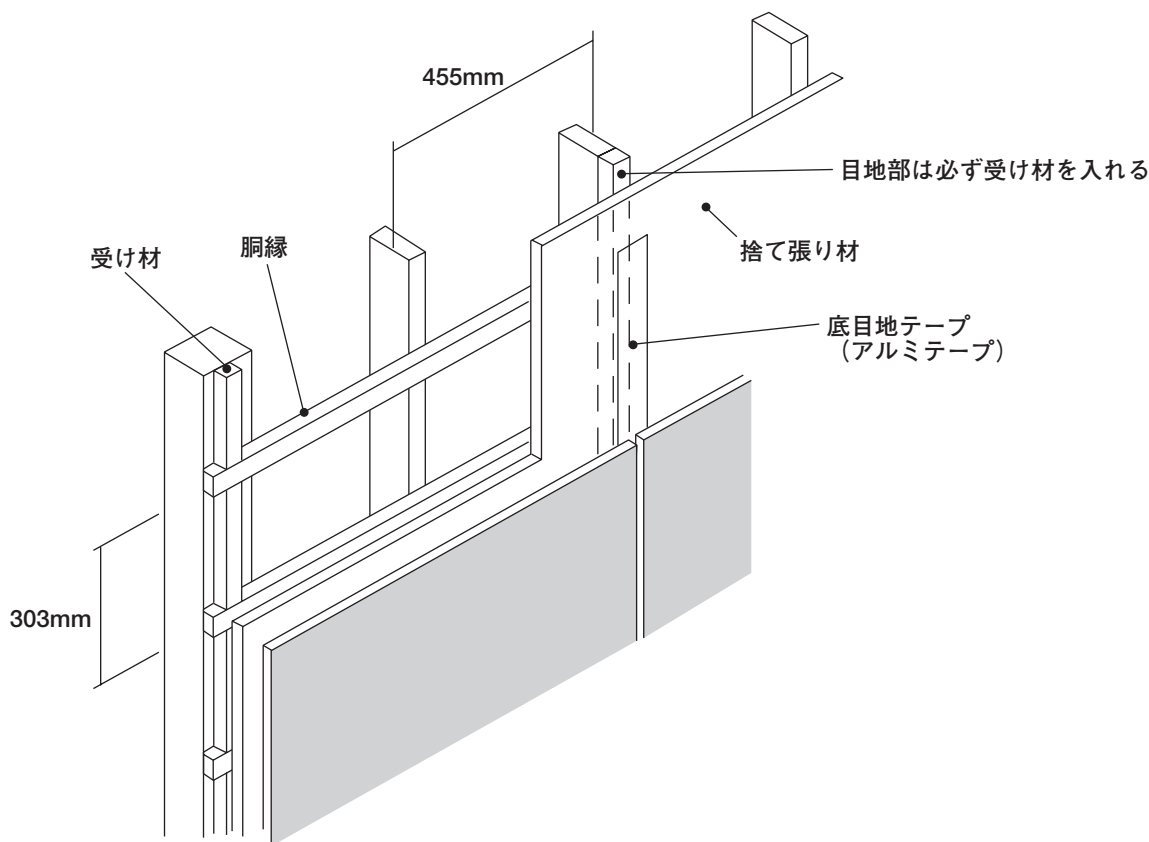


4. 下地の施工

- 下地の間柱は455mm、胴縁は303mmの間隔を基本とし、捨て張り材を釘などで留め付けます。
- 捨て張り材は、合板では厚さ9mm以上、石膏ボードでは厚さ9.5mm以上のものを使用します。(耐水タイプをご使用ください。)
- 台所のコンロ等の周囲に施工する場合は、12.5mm以上の不燃タイプの石膏ボードをお奨めします。
- 捨て張り材の縦目には必ず受け材がくるようにし、段差のできないように注意します。
- 捨て張り材とプレミアートの継ぎ目は重ならないようにします。
- プレミアートの取り付け前に必ず、水平・垂直の墨出しを行い、プレミアートの割り付けを行います。

⚠ 注意：台所のコンロ等の周囲は火災の発生を考慮し、火災予防条例等の防火上の基準に従って施工してください。

⚠ 注意：捨て張り材に段差があると接着不良の原因となり、プレミアートの脱落の原因になりますので、必ず平滑に仕上げてください。









5. 玄関等に施工する場合の注意事項

- 玄関等に施工する場合にはプレミアートはたたきから50mm以上上げてお使いください。

⚠ 注意：浴室内には使用しないでください。

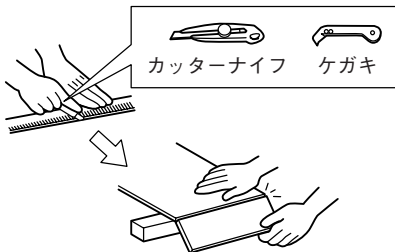
6. プレミアートの加工

- 
注意：切断・研磨等の加工の際に長時間・多量の粉塵を吸入すると健康を損う恐れがありますので十分な防塵対策を行なって下さい。また、必要に応じて防塵マスク、保護手袋・眼鏡を着用してください。取扱い後は、うがい及び、手洗いを励行してください。
- 
注意：加工工具の使用に際しては、工具の使用上の注意事項を守って安全に作業してください。
- 
注意：プレミアートの切断面は鋭利なので手等を切る恐れがあります。取扱いには充分注意するとともに、必ず面取り加工を行なってください。
- 
注意：鏡面は傷つきますと目立ちますので、表面の保護を十分行なってから加工してください。
- 
注意：製品の仕様上、表面に保護フィルムを使用していない製品がございます。傷付きにくく、傷が目立ちにくい表面仕様となっておりますが、過度な取扱いにはご注意ください。
- 
注意：切り欠き部分にバリ、欠け等を生じると表面もしくは基材割れの原因となります。切断面が粗くならない様、ドリルで小穴をあけた後切り欠きを行ってください。

切身加工

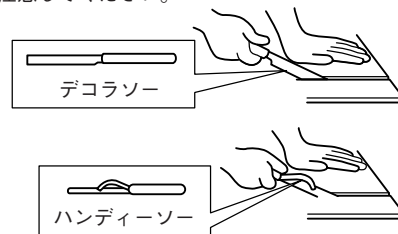
筋つけ切断

ケガキまたはカッターナイフで表裏面に2~3回切り傷を付け折り曲げます。



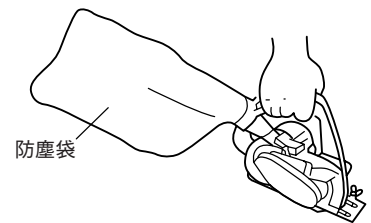
手鋸切断

手鋸（デコラソー、ハンディソー）を使用のときは、切りじまいでの欠けをおこさないように注意してください。



電動鋸切断

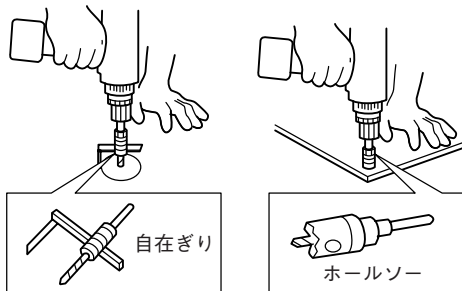
電動鋸を使用するときは超硬チップソー、ダイヤモンドソーをご使用ください。



穴あけ加工

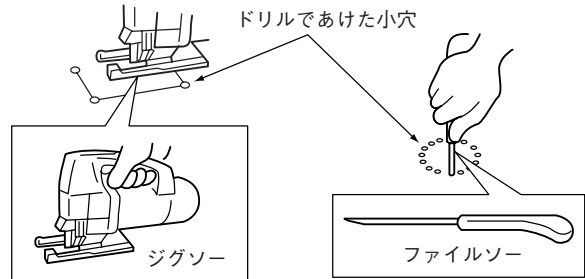
一般の穴あけ

直径10mm以下ならドリル、それ以上のものは自在ざりやホールソーをご使用ください。



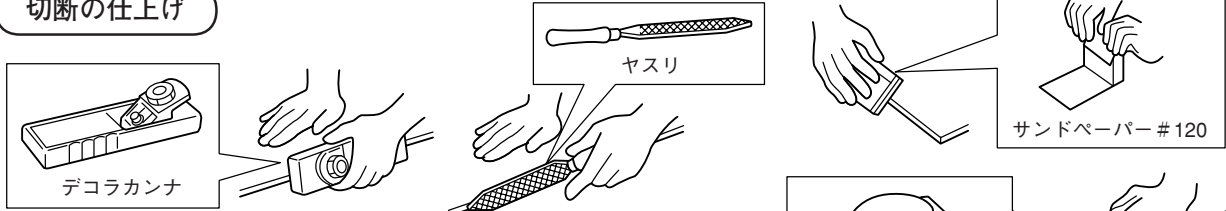
不定形の穴あけ

ドリルで小穴をあけた後、ジグソーかファイルソーで穴あけ、切断をします。

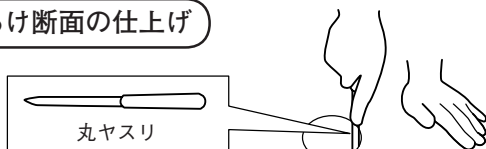


仕上加工

切断の仕上げ



穴あけ断面の仕上げ



総仕上げ

ウレタン樹脂塗料かアクリルラッカ樹脂塗料を塗布します。

7. プレミアートの張り付け

『スピーデル工法』による施工

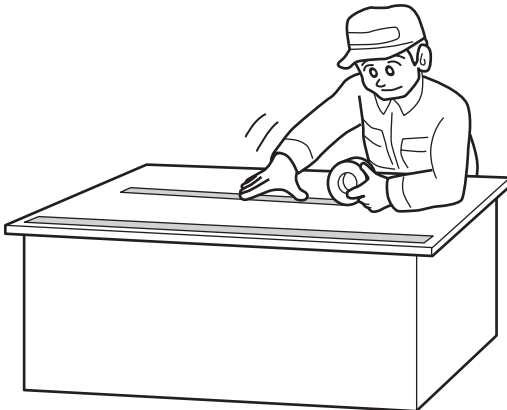
スピーデル工法用テープとスピーデル工法用接着剤を使用し仮止め材を用いずに上から押さえるだけでスピーディーに施工できます。

(1) 清掃と割付け



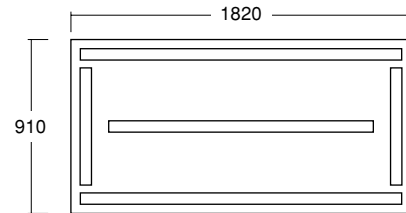
- ・下地の凹凸をなくし、下地やプレミアムアートをきれいに清掃します。
- ・下地に隅出しをして、割付けます。(プレミアムアートの継目は3mmあけます。)
- ・プレミアムアートの継目にあたる場所にはあらかじめ不燃アルミテープ(厚さ0.5mm×幅20mm以上)を張ります。ただし、捨て張り材が不燃材料やアルミジョイナーを用いた場合には必要ありません。

(2) 両面テープの貼り付け



プレミアムアート裏面の所定位置に両面テープを貼り付けます。再度、しっかりと両面テープを押さえつけます。

両面テープを貼付位置(5ヶ所)(3尺×6尺)



注意：プレミアムアートが脱落しないように両面テープは確実に張り付け押さえつけてください。

スピーデル工法用テープ ※標準使用量(1枚当り)3×8尺・3.1×8.5尺約1巻 3×6尺約2/3巻

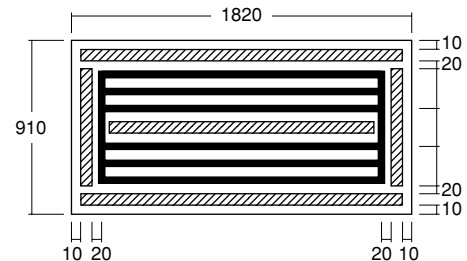
(3) 接着剤の塗布

プレミアムアート裏面の所定位置に接着剤を塗布します。

接着剤塗布位置(6ヶ所)



▨ 両面テープ ■ 接着剤



○テープの端から接着剤の端までの距離は20mm。



注意：部屋の形状、施工部位によっては両面テープ、接着剤の塗布は、下地側に行った方がよい場合があります。



注意：接着剤の使用上の注意事項を守って安全に作業してください。

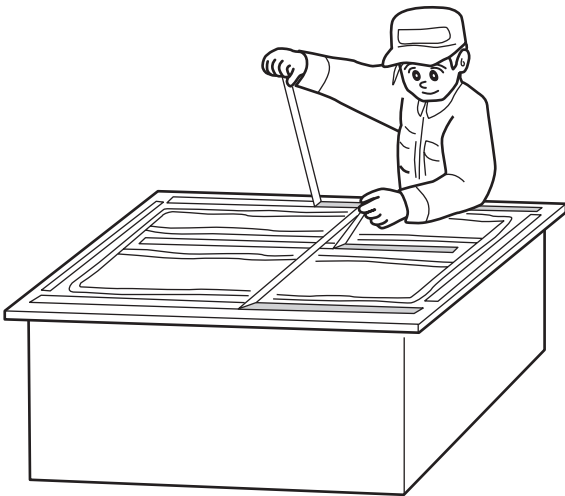


注意：接着剤の塗布量が少ないとプレミアムアートが脱落する可能性がありますので接着剤は確実に塗布してください。

スピーデル工法用接着剤 ※標準使用量(1枚当り)3×8尺・3.1×8.5尺約1本 3×6尺約1本

(4) 両面テープ離型紙の除去

両面テープ表面の紙を取り除きます。



注意：離型紙は確実に取り除いてください。

(5) 仮押さえ



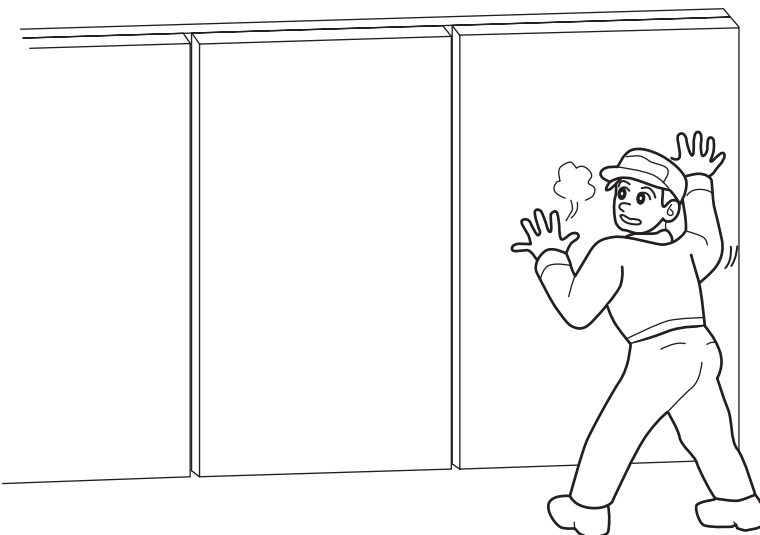
位置を合わせながら軽く仮押さえします。

※位置微調整ができるようこの段階では軽く押さえてください。

※目地部は3mm厚のスペーサーを使用してください。

※目地部を突き合わせた施工は出来ません。

(6) 貼付け養生



位置を確認したらしっかりテープ位置を押さえ込みます。



注意：押さえ込み位置は両面テープ貼り付け部分のみとしてください。接着剤塗布部分を押さえますと、内部で接着剤が泣き別れ状態になり、十分な接着力が得られない恐れがあります。



注意：プレミアートが脱落しないようにしっかりと押さえ込んでください。



注意：接着剤が硬化するまでは脱落の可能性がありますのでプレミアートに衝撃のかかる作業はしないでください。

接着剤が硬化するまで、丸1日養生させます。

(7) 養生フィルム剥がし ※(KS, Kのみ)

24時間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

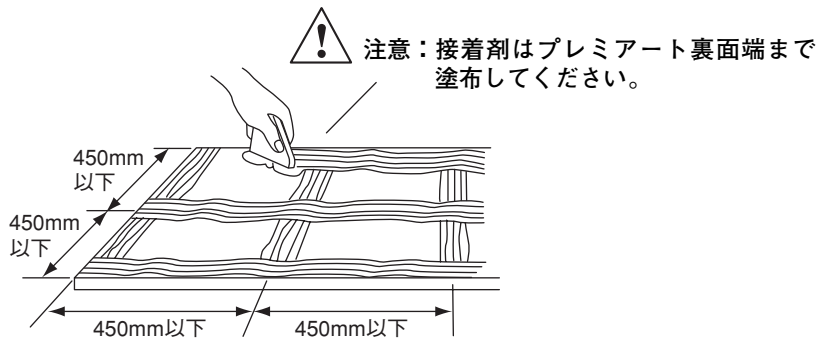


注意：保護フィルム端部をツメ等で無理に剥がそうとすると、化粧層を傷付ける恐れがあります。フィルムを剥がす際は十分注意ください。

『目地仮止め工法』による施工

(1) 接着剤の塗布

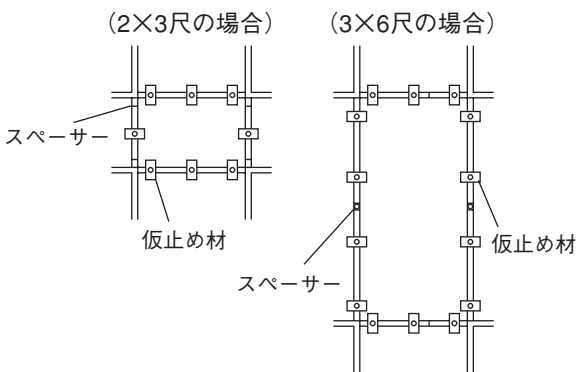
- ・接着剤は弊社専用のものをお使いください。
- ・プレミアート裏面に接着剤をクシ目ゴテにて格子状に塗布します。
- ・塗布量は $300\sim 400\text{ g/m}^2$ ($350\text{ g}/3\text{尺}\times 6\text{尺}$)を目安とします。



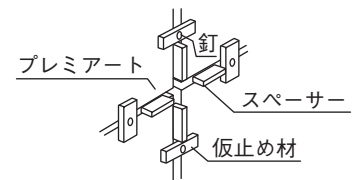
(2) 取り付け

- ・接着剤を塗布したプレミアートは、位置を合わせ下地に圧着し、位置がズレないように仮止め材を使い止めつけます。


● 仮止め材・スペーサーの位置



● 目地部の処理




※中央部は浮き上がりを防ぐため
つっぱり棒を当ててください。

 注意：プレミアートが脱落しないために、十分に圧着を行ない確実に仮止めを行なってください。

- ・仮止め材は接着剤が充分硬化した後取り除き、後作業を行ないます。

 注意：接着剤の硬化には、24時間以上を必要とします。(20℃)

 注意：プレミアートの脱落の原因となりますので、接着剤が硬化するまで強い衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。

タイル下地への施工

(1) 下地調整

①タイル表面が汚れている場合

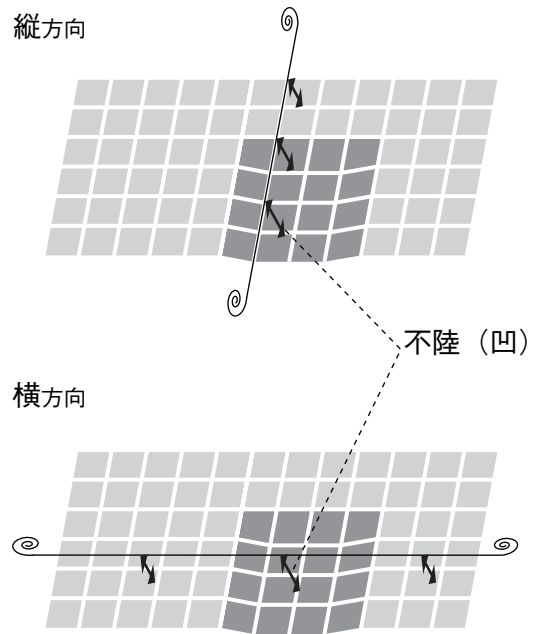
◎タイル表面の汚れを十分に除去してください。

②タイル表面の不陸の有無

◎右図のように直定規・下げ振りレーザーレベル等を用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。凹部分はブチルゴム板等を用い、調整してください。

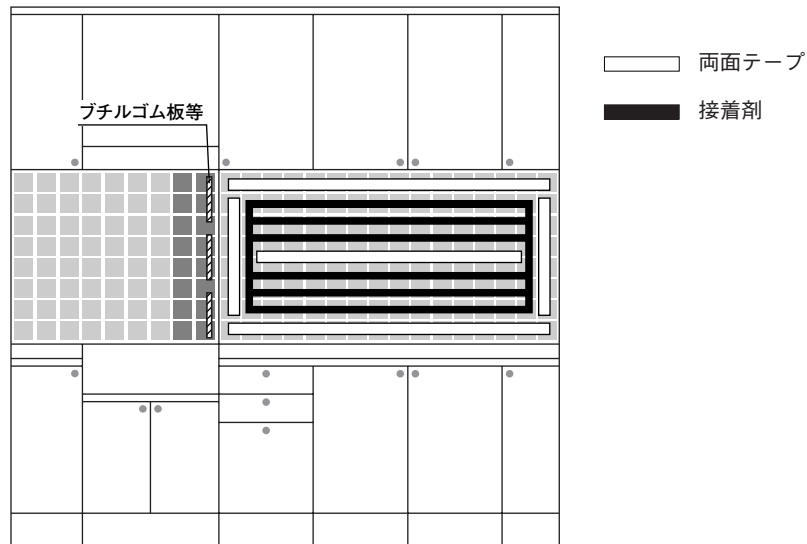
③表面タイルの浮きの有無

◎古いタイル壁面では浮き・剥がれの危険が高いため、打音検査（金槌でタイル表面を叩きタイルの異常音を音で判断）等でタイルの浮きを調べてください。浮いたり剥がれたタイルは補修をお願いします。



(2) 両面テープの貼り付けおよび接着剤の塗布

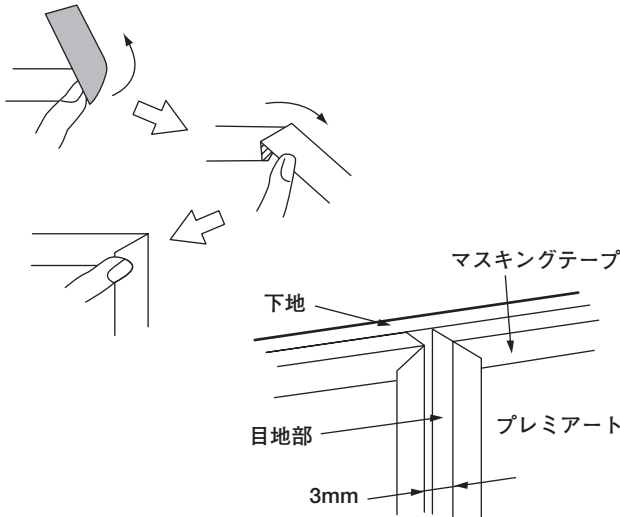
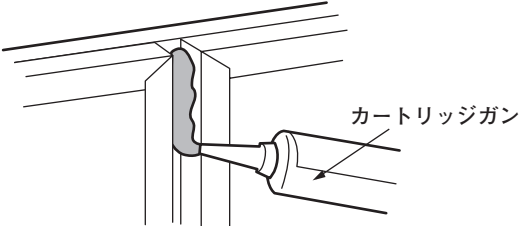
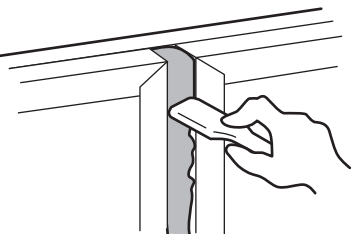
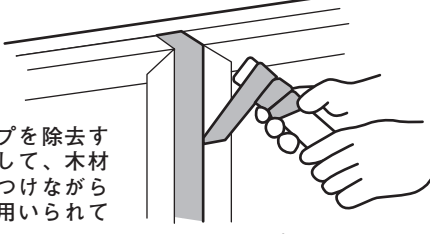
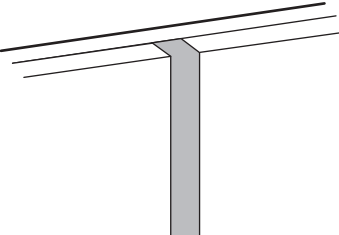
- ・両面テープの貼り付けおよび接着剤の塗布は下地タイル側へ行ってください。
- ・両面テープの貼り付け位置および接着剤塗布方法はP 7のスピーデル工法を参照してください。
- ・当て木をして木づちなどで両面テープ貼り付け位置をたたいてよく密着させます。この時プレミアムアートを傷付けないように注意してください。



⚠ 注意：プレミアムアートが脱落しないために、十分に圧着を行なってください。この際、両面テープ貼り付け部分のみを押さえる様にしてください。接着剤部分を押しさえると十分な接着力が得られない場合があります。

⚠ 注意：プレミアムアートの脱落の原因となりますので、接着剤が硬化するまで強い衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。

8. 目地の処理

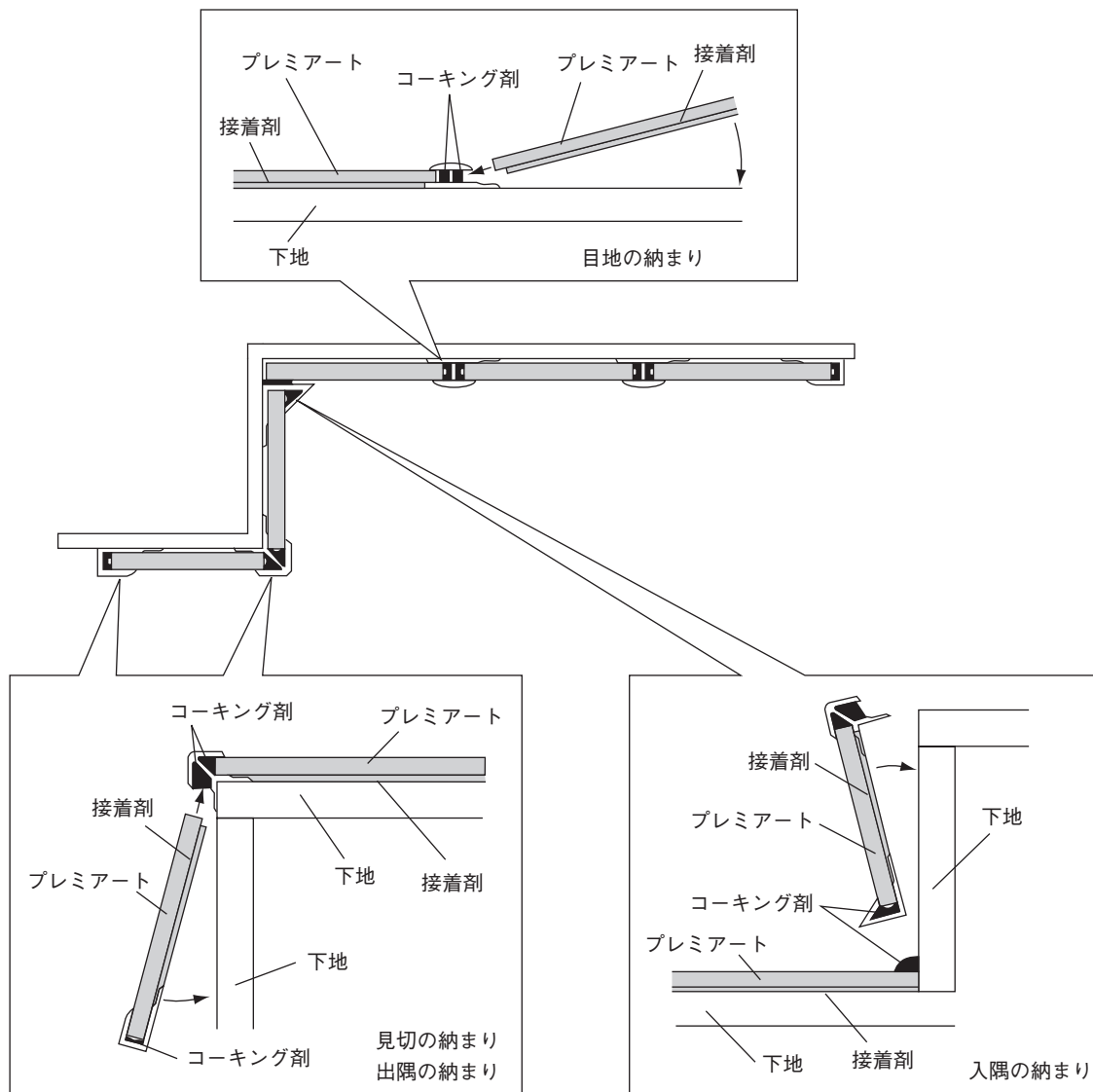
<p>マスキングテープの折り方</p>  <p>マスキングテープ</p> <p>下地</p> <p>目地部</p> <p>プレミアム</p> <p>3mm</p>	<p>(1) マスキングテープ貼り</p> <p>下地をきれいにし、清掃、乾燥させたあと、下地面に付着しているゴミ、油分、汚れなどをシンナーなどを浸したきれいな布で清掃、十分乾かしてください。目地の仕上がりをきれいにするため、プレミアートの縁にマスキングテープを貼り付けます。テープの粘着剤が被着面を汚したり、残ったりしないものを使用してください。</p> <p>! 注意：プレミアム端部の面取り部分にまで目地剤がいきわたる様テープの貼り位置は調整ください。化粧面に少しかかる様にしてください。</p>
 <p>カートリッジガン</p> <p>* 1本で約15mの長さの目地処理ができます</p>	<p>(2) 目地剤の充填</p> <p>カートリッジガンで目地剤を充填します。ノズルを目地に押しつけるようにして、目地剤をすみずみまで十分に充填します。</p> <p>※目地剤は目地が黒ずまない防カビタイプで耐水性にも優れた当社専用品をご使用ください。</p>
	<p>(3) ヘラ仕上</p> <p>ヘラ仕上げを行ないます。</p> <p>※内部まで目地剤がゆきわたるように十分に押さえて平らに仕上げてください。</p>
 <p>テープ</p> <p>マスキングテープを除去する主なやり方として、木材の切れ端に巻きつけながら取り除く方法が用いられています。</p>	<p>(4) マスキングテープの除去</p> <p>ヘラ仕上げが終り次第、マスキングテープを取り除きます。目地剤が付着していたらきれいな布で拭きとってください。</p>
	<p>(5) 目地養生</p> <p>目地養生 (20℃1日) させてください。仕上げ後、目地剤が硬化し、さわってもよくなるまで触れぬよう注意してください。</p>



注意：下地に水がまわらないように目地剤は確実に充填してください。

9. アルミジョイナー、ABSジョイナーによる目地処理

アルミジョイナーは弊社専用ジョイナーをご使用ください。



施工手順

- (1) ジョイナーの差し込み部には、あらかじめスピーデル工法用接着剤または、シリコン系目地剤を充填します。
- (2) ジョイナーにプレミアートを差し込み止め付けます。
必要に応じてジョイナーは釘で固定してください。



注意：下地に水がまわらないようにジョイナーの溝には必ず目地剤等を充填してください。

10. 火気使用場所に施工する場合の注意事項

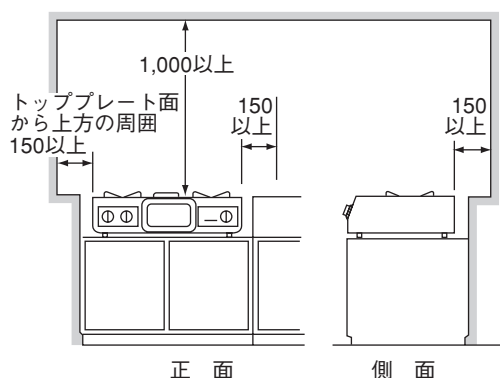


注意：火気に近いところに施工する場合は火災の危険性がありますので防火上の規制に従って安全に施工してください。

1. 火災予防条例により、専用住宅、共同住宅、等に設置される火気設備（コンロ等）の周囲は、構造規制されます。次のことを参考にして施工してください。

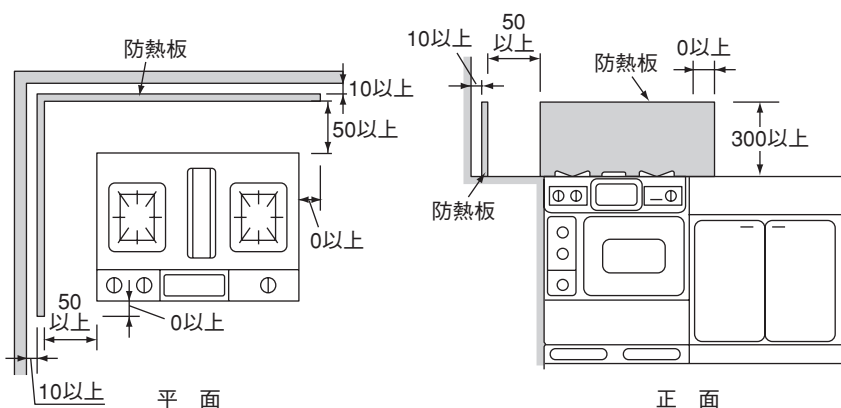
I H調理器もガス調理器と同様の火気使用室という扱いとしてください。

(1) ガスコンロ等は、仕上面から上方で1000mm、側方及び後方で150mm以上離れるように設置してください。



(2) コンロの周囲に150mm以上の空間をとることができない場合。

防熱板を設置してください。この場合も50mm以上の間隔を設けてください。



※防熱板と壁材の間には10mm以上のすき間をあけます。

※コンロのトッププレート面から上方300mm以上を防熱板で保護します。

2. プレミアートをガスコンロ周辺でご使用される場合、コンロとプレミアートを貼った壁面との距離が近いと、調理用器具（鍋、フライパン等）の端部が壁面にふれて、ガスコンロの火が調理容器の底を伝って直接壁面にあたり、プレミアートの表面が変色したり、焦げたりすることがあります。プレミアートが変色しても不燃材料としての性能には問題ありませんが、美観上好ましくないなので、コンロと壁面の間隔を150mm以上とるか、防熱板を取り付けてください。（この場合も50mm以上の間隔を設けてください。）

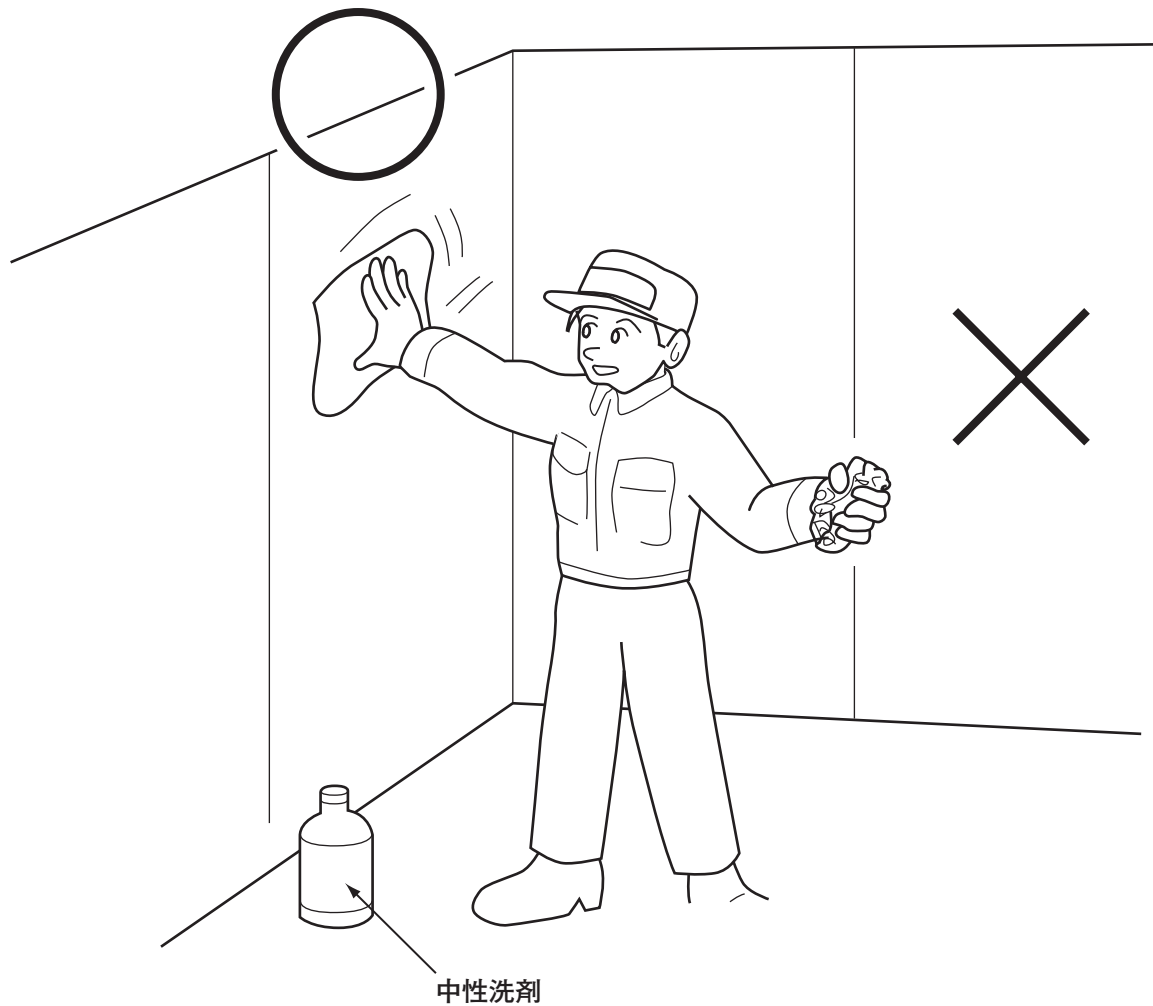
※業務用は強い火力が予想されますのでコンロ前にはステンレス板をご使用ください。

3. ガスコンロ前には目地が入らないように割付けてください。

お施主様にお伝えください

11. 施工後の取り扱い注意事項

- プレミアートをきれいに保つためには、汚れはこまめにおとします。
- 汚れは、からぶき、水ぶき、中性洗剤で拭き取ります。落ちにくい汚れはアルコール・ベンジン・シンナーで拭き取ります。強い酸性やアルカリ性の洗剤は化粧面を傷めます。
- スチールたわしやクレンザー等は絶対に使用しないでください。



- 表面へのタオルハンガー・吸盤・ビス等の取り付けはお避けください。万一取り付ける場合は下地受け材への取り付けをお願いします。
- プレミアートの表面は化粧シート等のため、直接炎が当たる使用はしないでください。万一、炎が当たった場合、表面が焦げる恐れがあります。

製品に関するご相談は…

製品全般に関するご相談は

お客様センター

 **0120-787-505**

受付時間: 平日9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。)

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。) 尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。